

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 熊谷 教室

保護者等数(児童数) 19 回収数 17 割合 89 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1	1	0	・静養室やお昼寝出来るスペースがあるとありがたい。	空きスペースを確保できる様検討して参ります
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	0	1	・職員みなさん子どもの事を考え専門的なアドバイスも頂けます。	子どもの安全を第一に考え配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	1	2	・とてもきれいで安全に活動できる環境です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1	0	1	・子どもの目線にあわせた工夫がされていた	活動の邪魔にならないよう机やイスは活動に合わせて移動できるようにしています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	0	0	0	・自宅での様子や園での様子も聞きながら一緒に考えてくれた。	今後もアセスメントシートと日々の送迎時の情報交換を行いながら計画を立てて参ります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	0	0	1	・子どもの個性を理解し寄り添った内容です。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1	0	1	・どんな支援をし、こどもがどんな様子だったかを送迎の際に細かく説明してくれるのでとても嬉しいです。	ご記入いただいたアセスメントシートをもとに職員間で吟味しながら支援を行っております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	1	・毎日違うプログラムを考えている。	毎日違うプログラムを、5領域にあわせて考えております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	3	6	・子ども同士の活動の機会はないが、園と自宅とこぼんで連携をとれるようにしている。	今後検討して参ります。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1	0	0	・一つ一つ説明が丁寧で安心しています。	契約時にご案内しております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	3	0	1	・説明のほかに自宅で見返せるようにと手書きのお手紙を渡してくれた。	今後も安心してお子様を預けて頂けるよう努めて参ります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	4	1	2	・アドバイスが具体的に親と子に寄り添ってかかっています。 ・自宅でも楽しく出来るトレーニングを教えてください。	今後もご自宅でも出来る簡単なトレーニングなどを伝えて参ります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2	0	0	・日々の子どもの様子を細かく伝えて頂けるのでありがたいです。 ・毎回丁寧に説明してくれます。	・送迎時お話しいただいた内容は、職員間で共有し共通認識をもって対応させていただきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	4	1	0	・利用日に関わらず充分に支援してくれています。	送迎時だけでなく、些細なことでも気になる事がありましたら随時ご連絡いただければと存じます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	7	5	・デリケートな方もいると思うのでいらなと思う。 ・参観日などを開催していただけると嬉しいです。	今後検討して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	0	1	0	・相談の申し入れの際、迅速・丁寧に対応頂いてありがたかったです。 ・相談するとすぐに対応頂き判断が早い。 ・今まで利用した施設さんの中で1番信頼しています。 ・アプリやSNSで連絡が取れるとありがたい。	ご相談やお申入れに関してはなるべく迅速な対応を心掛けております。 SNSでのやり取りは今後検討いたします。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0	・話し合いだけでなく手紙などで工夫してくれています。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	0	0	0	・毎回違うプログラム表とおたよりがあるので毎月楽しみにしています。	月に1回おたよりを配布しております。
非常時 等の 対応	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	3		個人情報には鍵のかかる書庫に保管しております。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1	0	4		ご契約時、利用契約書とあわせてご案内しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	0	9	・プログラム表にのせてくれています。 ・子どもが訓練の内容を覚えてくれました。	半年に1度避難訓練のプログラムを取り入れております。
満足	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16	0	0	1	・子どもがこぼんに行ける日をいつも楽しみに待っています。 ・こぼんの日は朝から機嫌がいいです。	今後も楽しく活動できる場を提供してまいります。

年度	23	事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0	・こぼんのおかげで安心して子育てできています。 ・送迎があるので助かっています。	今後もお子さまにも保護者様にも安心して通って頂けるよう努めてまいります。
			310	25	15	38	80%	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 熊谷 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	部屋を分けて集中して活動に取り組めるようにしている	静養室のかわりになるスペースの確保を検討
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	1人の職員につき児童2人をベースに、送迎で職員の人数が減る際は声掛けしながら子供を促し活動できるようにしています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	名前が書かれたロッカーを利用し、自分のものだとわかりやすいようにしている。イラストと声掛けを併用し、指示を通りやすくしている	スロープや手すりがない事とビルの4階である事を考えると車いすの児童は受け入れが難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	毎日掃除とおもちゃ等の消毒をおこなっている	防音マットなどを利用したい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	月に1度ミーティングを行う。日々の課題や共有事項は申し送りノートを活用している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	評価の公表は今年度で2回目。その他送迎時に保護者様と情報の共有をしている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	前年度から公表を行っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3		活用の機会を検討。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	毎月のミーティングのほか、動画やズームでの研修はなるべく職員全員が参加出来るようにしている	どのような研修を求めているかアンケートを実施したい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	年に1度アセスメントシートの更新を保護者様に依頼し、それをもとに職員で話し合いの場を設け作成している。	今後も送迎時にお話しいただいた内容は職員全員で共有し、ミーティングを行ったうえで作成していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	目標を定め、児童の段階に沿った支援を行うため活用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1	現在はお家庭や園での様子をもとに5領域に沿った内容で作成している。	今後もう少し狙いを明確にし、具体的な支援内容を設定できるよう職員間で日々の児童の様子を共有していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	1人ひとりの児童に沿った支援を意識し、小集団の活動の中で支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	職員全員でプログラム案を出している。	さらに活動の狙いを明確にした内容を考案していきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	5領域に沿った内容で、毎日違ったプログラムを考案している。	反響の大きかった活動は毎月行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	児童個々の特性を理解し、小集団の活動でそれをどのように活かせるか検討している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	2	係を配置し、その日1日の職員の役割をわかりやすくしている。その日のリーダーが中心になり児童・職員共に声掛けを行う。	活動プログラム以外の余暇の時間を使った支援内容にも力をいれていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	申し送りノートを活用し、共有できるようにしている。	送迎が遅くなると職員全員で終礼を行う事が難しい為今後もボードやノートを利用し確認漏れのないようにしていきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	連絡帳を通して1日の出来事を記入し、見返せるようにしている。	記録をとるだけでなくその記録をもとに支援ミーティングを開いていきたい。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	定期的にモニタリングを行い、目標達成なのか継続なのか判断している。		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	会議の前にはミーティングを開き、児童の状況を職員全員で共有したうえで参加している	感染症などの影響で担当者会議が延期になってしまう事も多いため、今後調整していきたい。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	相談支援員さんと連携をとり、セルフプランの児童は園と情報共有しながら支援を行っている。		
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者なし		

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1		児童の特性を尊重した支援を行えるよう相互理解を図っていききたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	3		来年度より放デイに上がる児童が増えるため、今後より一層の情報共有をはかっていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	不定期に行われる事業所が集まる研修に参加している。	専門機関による研修は今後も積極的に受けたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	9		今後必要に応じて検討。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	5	4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	連絡帳にはその日の教室の様子や活動内容を記入し、送迎時に出来るようになったことや今後の課題について保護者様と情報の共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	3	自宅で簡単にできるトレーニングなどをお伝えしている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時にお伝えしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	場合によっては書ききれない事もある為、別紙でお手紙を書いてわかりやすい説明を心掛けている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	児童だけではなく、保護者様にも寄り添った支援を行えるよう努めている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8		今後必要に応じて検討。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	相談・申入れがあった際の対応は全職員共通認識を持ち、迅速に対応できるよう努めている。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	毎月予定表と写真付きのお便りを配布、不定期でブログを更新している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	鍵のかかる書庫に保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	声掛けだけでなくイラストやジェスチャーで伝える、大きな声の一斉指示が苦手な児童もいる。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9		今後検討。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1	マニュアル等を策定し、いつでも確認が出来る場所に設置している。	実践にも力を入れていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1	半年に1度、活動プログラムにて児童と一緒にやっている。同時に消火訓練や通報訓練も行う。	避難訓練の様子などを保護者様に発信していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	契約時に保護者様にアセスメントシートを記入していただき、必要に応じて服薬依頼書の記入をお願いしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	医師の指示書はないため、保護者様からご記入いただいたアセスメントシートをもとに対応している。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	ヒヤリハット用のファイルを作成し、誰でも追記、確認出来るようにしている。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	半年に1度虐待防止の研修を開き、参加出来なかった職員も把握できる様議事録を作成し、毎月お話し会をするようにしている。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	1	上記同様虐待防止研修の際に身体拘束についての研修も行っている。契約時に送迎車乗降の際に手を繋ぐ、飛び出しの危険がある場合は抱える事がある事等を説明。		